福島・県北

fresh friendly fukushima

線量測定器貸し出し

伊達市があすから

伊達市は6日、市民団体を対象に放射線量測定器の貸し出しを始める。市民が自ら測定し、実態を知ることで不安を和らげる。

市によると、現在保有する測定器38台のうち、5総合支所に配置した9台を各総合支所で貸し出す。対象は町内会や婦人会などで、貸し出し期限は3日程度。

除去表土 校庭に埋設

伊達・小国小 あすまでに完了

伊達市は4日、国の屋外活動制限基準値を超えていたことから除去し、校庭隅に仮置きしていた小国小の表土の埋設作業を始めた。

掘削作業が進む小国小校庭

作業は国の指針に沿い、掘削後、表土を遮水シートで包み、土をかぶせる。住民代表らから、学校周辺の市有地に埋める考えには同意を得られなかったため、校庭内に埋める。同日は地元の建設業者が、ショベルカーなどで校庭に穴を掘った。5日にシートを準備し、6日までに埋設する予定。

同様に校庭隅に仮置きしている富成小の表土は、来週末に校庭に埋める。

伊達の医学研企業内保育所

園庭で独自に除去

企業内保育所の園庭で始まった表土除去作業

伊達市の財団法人仁泉会医学研究所（佐藤喜一理事長）は4日、同市保原町字元木の企業内保育所「わんぱくらんど」で園庭の表土除去を開始した。

保護者らの不安に対応した同財団独自の取り組みで、委託を受けた業者が5日までに表土5㌢を除去する。同財団によると、独自に測定した放射線量は園庭で1・27㎛㌃。園児が安心して遊べるよう、約4㌃の園庭の表土除去を決めた。

園庭の周囲はシャベルなどを使った手作業、中心部は重機を使って表土を除去し、園庭の一角に埋める。

同保育所には保原中央クリニックや北福島医療センターなど同財団の施設で働く従業員の子どもたち約45人が通う。

山形の山菜人気

二本松の坂の駅

山菜を買い求める来場者ら

山形県産の山菜を販売する「山形いいでの山菜フェア」は、二本松市の坂の駅「松の木亭」前の[illegible]かれている。

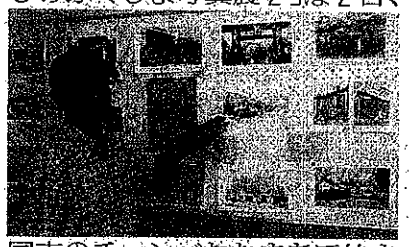
運営[illegible]処露伴塾[illegible]が山形県[illegible]ビや山ウ[illegible]の芽など[illegible]で販売し[illegible]

福島市[illegible]まひろし[illegible]優和田東[illegible]で、同市[illegible]催中の[illegible]

地域フラッシュ

明治から昭和の風景写真

明治から昭和30年代の福島市内の風景写真を展示する「懐かしのふくしま写真展2」は2日、



同市のチェンバおおまちで始まり、来場者が懐かしい写真に思いをはせている＝写真。30日まで。フクシマサービスグランドクラブ（吉田精一代表）の主催。

昭和初期の駅前通りを走る路面電車をはじめ、日銀福島支店や県立図書館などを写した約100点を展示。

毎週日曜日の午後1時からは、会場内で「懐かしい福島を語る茶話会」の開催を予定して

男女混合バレー、6区A優勝

第19回大平地区男女混合バレーボール大会は29日、二本松市の大平体育館で開かれ、6区Aチームが優勝した＝写真。大平バレーボールクラブ、大平公民館の主催。

同地区から12チームが参加。開会式では、菅野時史さん（7区・なな倶楽部）が選手宣誓した。トーナメントで順位を競い、

皆生き生きとしたプレーをみせた。2位は3区、3位はボストンクラブ（1区）、大平5区。

新入団員4人迎え入れ

被害

サクランボ農家 悲鳴

「将来の希望と展望がない」。福島市の果樹農家から悲鳴が上がる。同市上名倉の大友農園で3日、果樹農家が集い、サクランボのハウスのビニール掛け作業を行った。例年なら最盛期に向け盛り上がる作業だが、みちのく観光果樹園の片平新一市観光農園協会長は「今年はみんなの表情が暗い」と嘆く。

ボの予約が約1万4千箱あったが、今年はまだ2～3千箱。多くの果樹農家が同じ悩みを抱える。

風評に苦しむ福島の農家の助けになればと、例年通り購